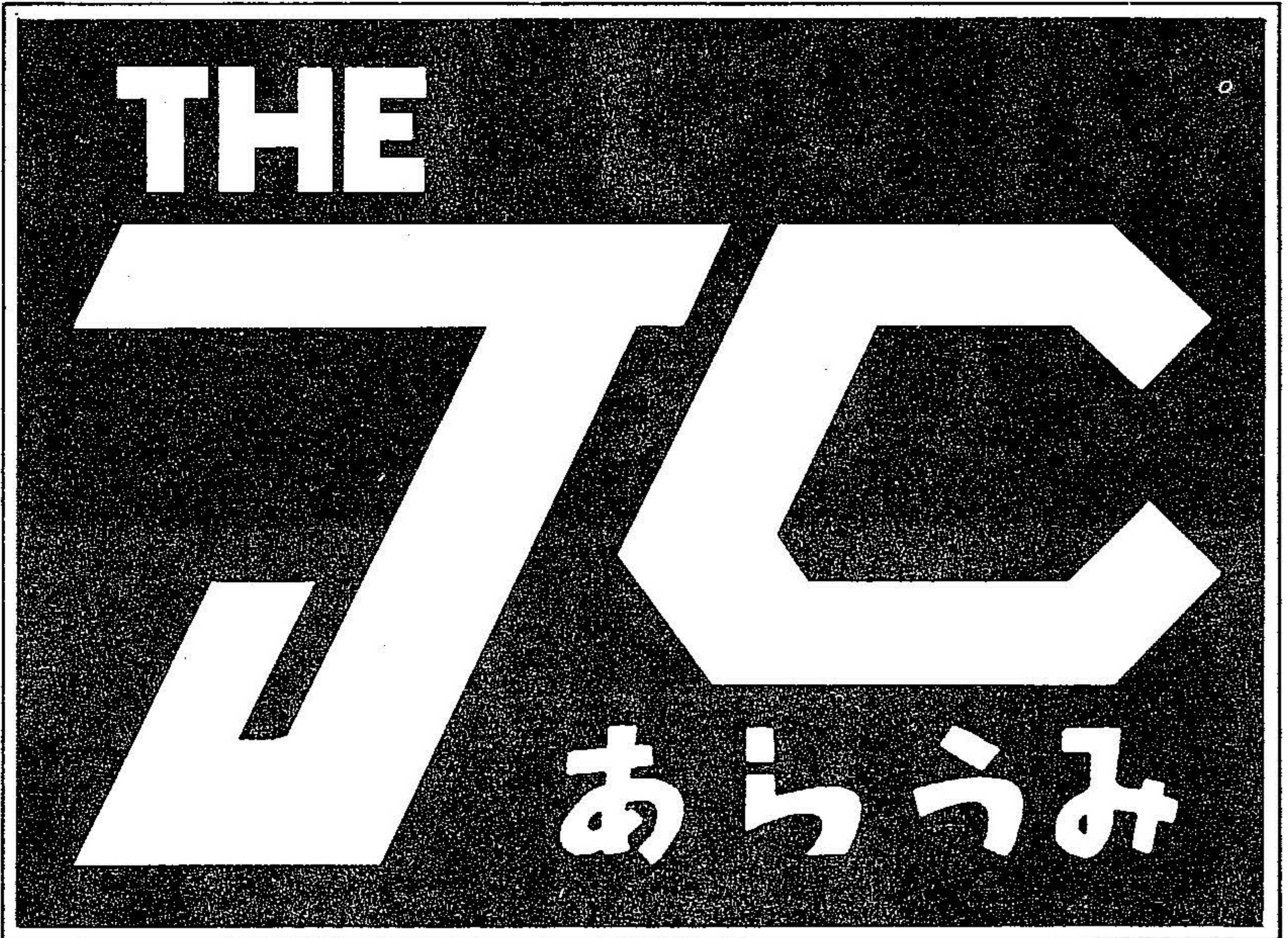


大いなる船出

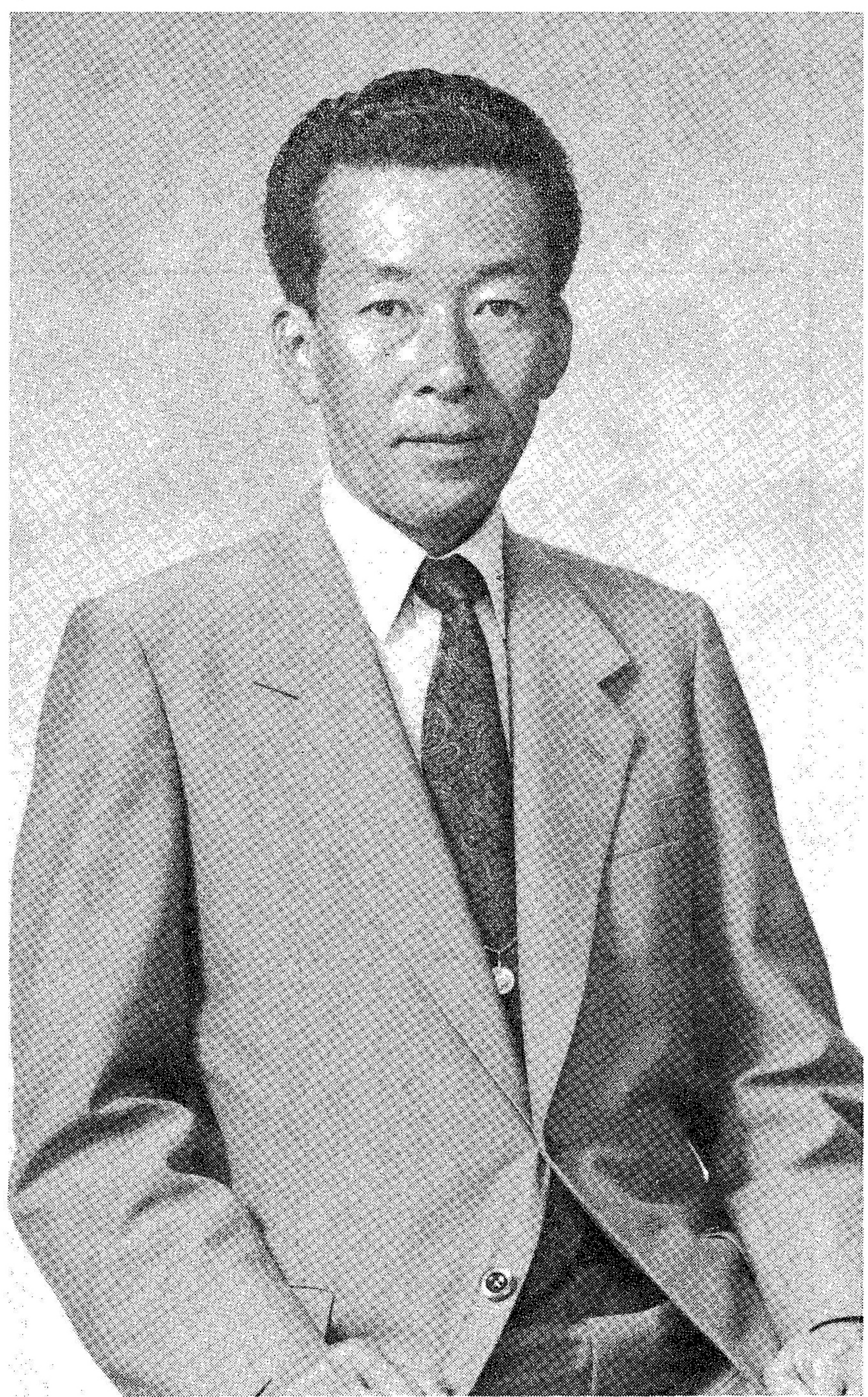
賀正



悠久の流れ三面川と雄大なるお城山



発行 村上青年会議所 総務広報委員会
村上市小町4-10 ☎0254-53-4257(代)



年頭に当たって

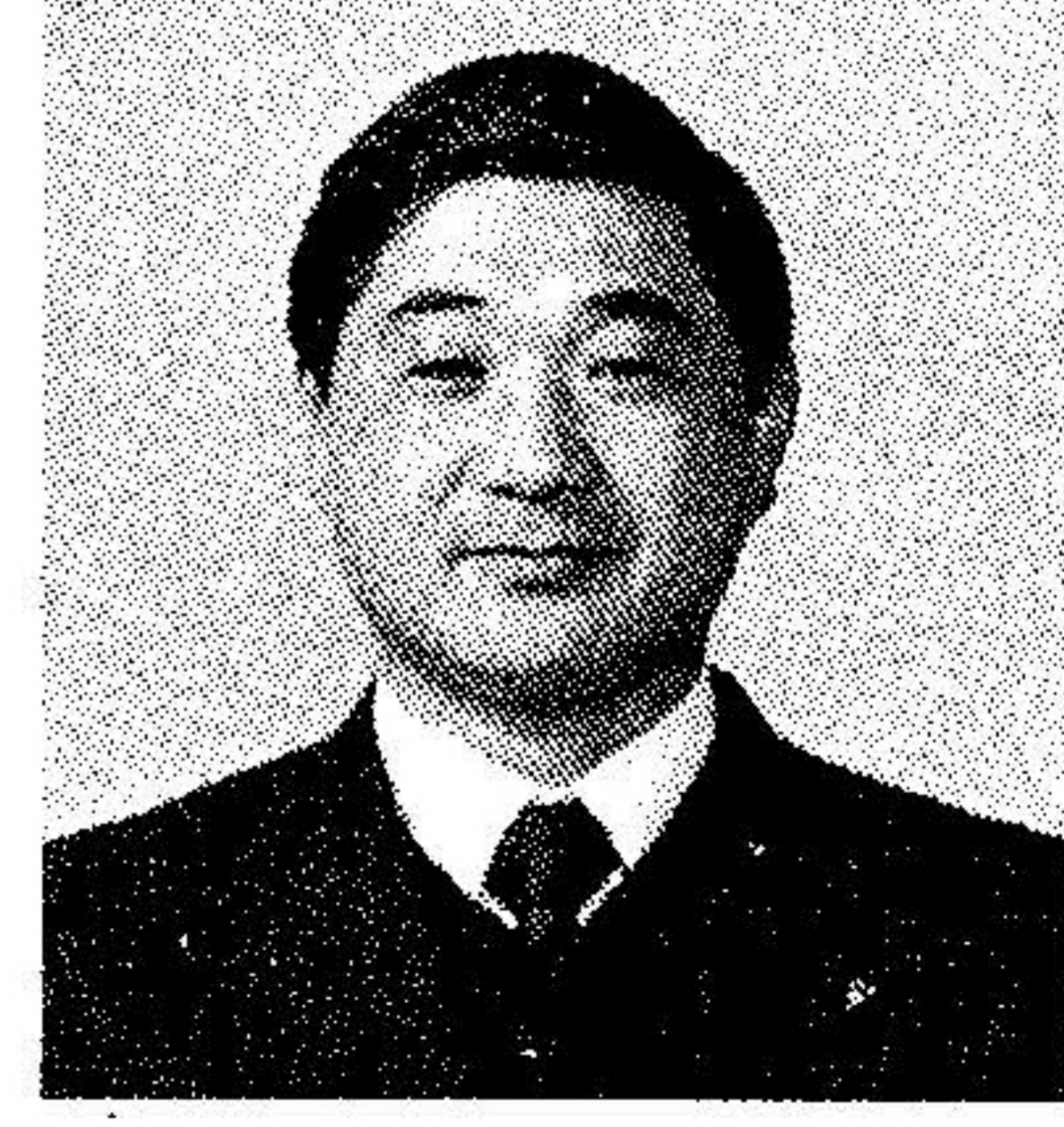
村上青年会議所理事長 齋藤 茂

茂

新年明けましておめでとう
ございます。
90年代の初頭にあたり皆様
に御挨拶を申し上げます。
激動の80年代も、年号が昭
和より平成へと変わり、新し
い90年代に入りました。
村上青年会議所の80年代を
振り返りますと80年 山貝公
一理事長の下、中条青年会議
所の設立。
81年 西山忠雄理事長の下、
少年の集いの開催、鈴
木健二文化講演会の実
施。
82年 小田政広理事長の下、
観光とまち作り市民一
○○○人アンケートの
実施。
83年 益田雄介理事長の下、
観光とまち作りの提言
書発表。
84年 稲垣寛治理事長の下、
市民憲章の制定の協力
鈴木茂光理事長の下、
ラブ好きです村上運動
(一夜城築城)の実施
鯖江青年会議所との姉
妹JCの調印。
85年 山貝博理事長の下、三
世代交流ゲートボール
大会、学校教育問題ア
ンケートの実施。
86年 川上伊登志理事長の下
創立20周年記念式典、
サーモンシンポジウム
の開催。
87年 加藤清司理事長の下、
武家屋敷シンポジウム
第一回日本海夕陽ライ
ンシンポジウムの開催
山貝勉理事長の下、第
二回日本海夕陽ライ
ンシンポジウムの村上で
の開催。
88年 以上の様に、数多くの事業を
手掛けてまいりました。
特に近年は、創立20周年事業
や、我々ではやり遂げる事が
出来るだろうかという様な、
大きな事業が続きました。
89年 今年、過去、現在、未来
を踏まえ、村上青年会議所、
自身を考える時期ではないか
と思っております。
第2回日本海夕陽ラインシ
ンポジウムも、多数の方々の
御理解と御協力、御支援と友
情によって、第3回は、秋田
県由利の地、本荘市において
開催される事が決定し、盛会
の内に終わらせていただく事

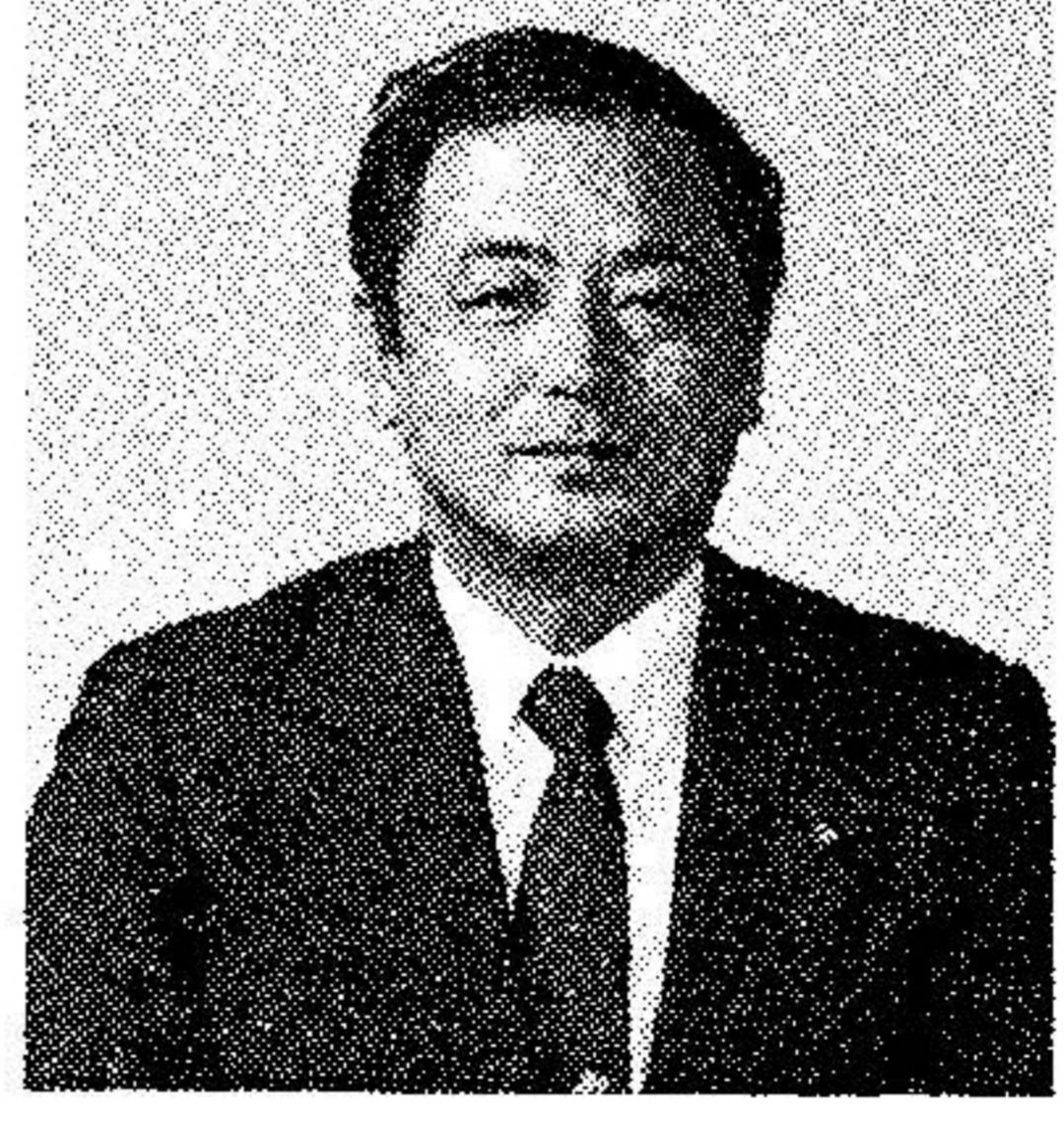
が出来ました。
この事業一つを見ましても
村上という一地域ではなく広
域的な視野で活動して行かな
ければならないと考えます。
今後は、これまで以上に、
社会的責任と、自覚を持って
活動をして行かなければなら
ないのではないのでしょうか。
この為には、会員の資質の向
上と、拡大が必要です。
今年度は、会員を拡大し、社
団法人格を取得し、他青年団
体との交流を深め、今まで諸
先輩方が残してくれた資料を
基に、今後の村上青年会議所
の有り方を考え研究して行こ
うではありませんか。又一
九九〇年度日本青年会議所会
頭藤田公康君の所信をふまえ
地域の自立による地域の活性
化の為の「地方分権」を全国
各地の声として、その輪を広
げる運動「しあわせ列島推進
運動」に強力に参加して行き
たいと考えております。
今、私達青年に求められて
いるのは、私達自身が生活す
る地域の将来を、私達が考え
「自立」した快適で活力ある
まちづくりの為に勇気を持つ
て行動することだと思います。
何故ならば、真の地域の自
立こそが、それぞれの地域
の活性化と個性を生み、民
主主義、本来の姿により一層
近づく道であると考えらる
からです。
そして又「地域の自立」の
為の「地方分権」こそが、自
立した地域の集合体としての
真に豊かな日本列島を創り上
げるものと信じます。
この運動の主役は、我々の
地域(まち)が主役です。
市町村長はじめ関係各位皆様
の御協力を御願ひし、個人の
修練と社会への奉仕世界との
友情に、感じる事の出来る若
人の入会を望みまして、新年
の御挨拶とさせていただきます。

新役員



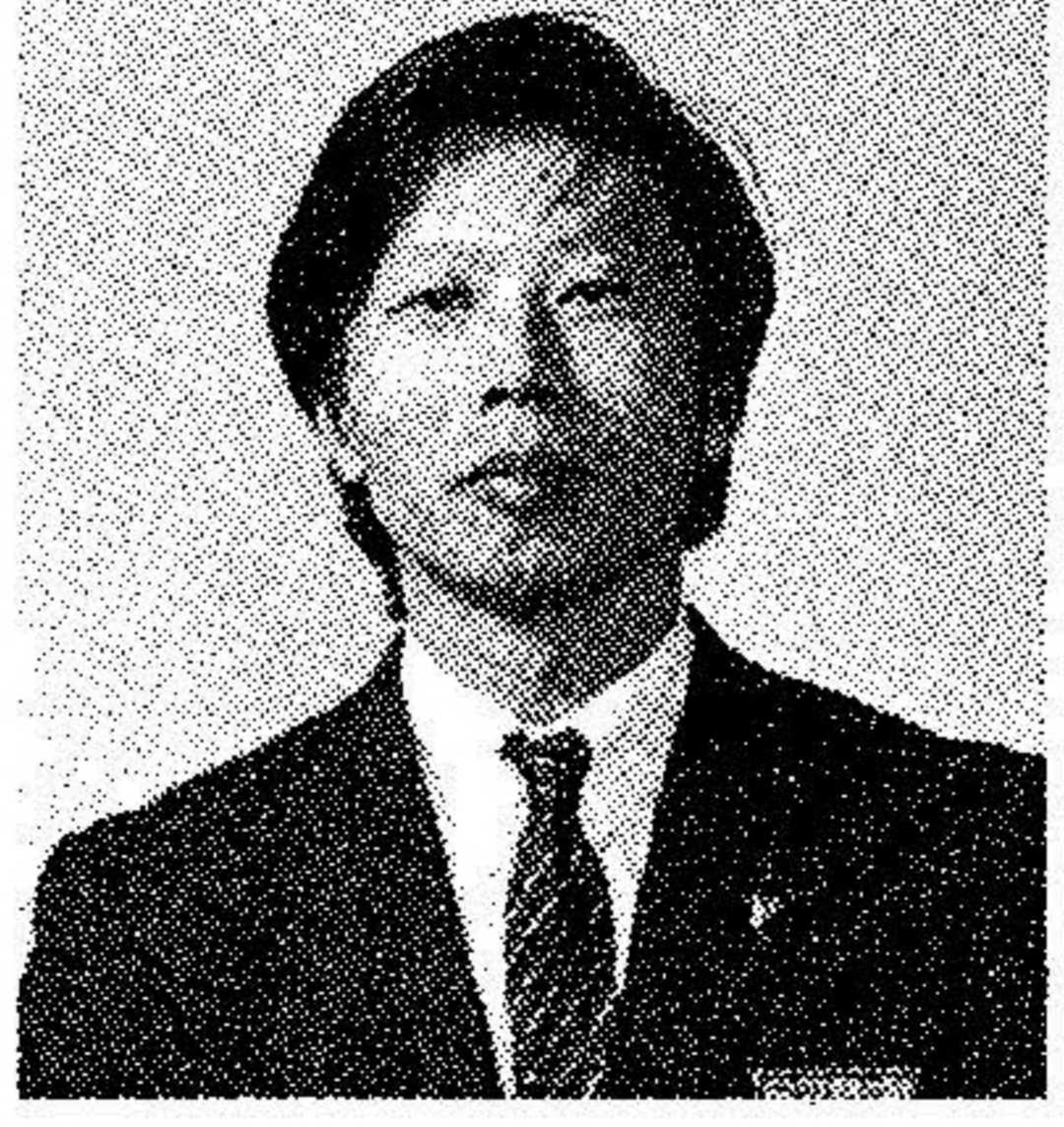
直前理事長
山貝 勉
やまが い つとむ

①24年9月5日生②47年度
③51年経営開発委員長、58
年社会開発副委員長、60年
総務広報委員長、61年監事
63年副理事長、元年理事長
④(能)登新



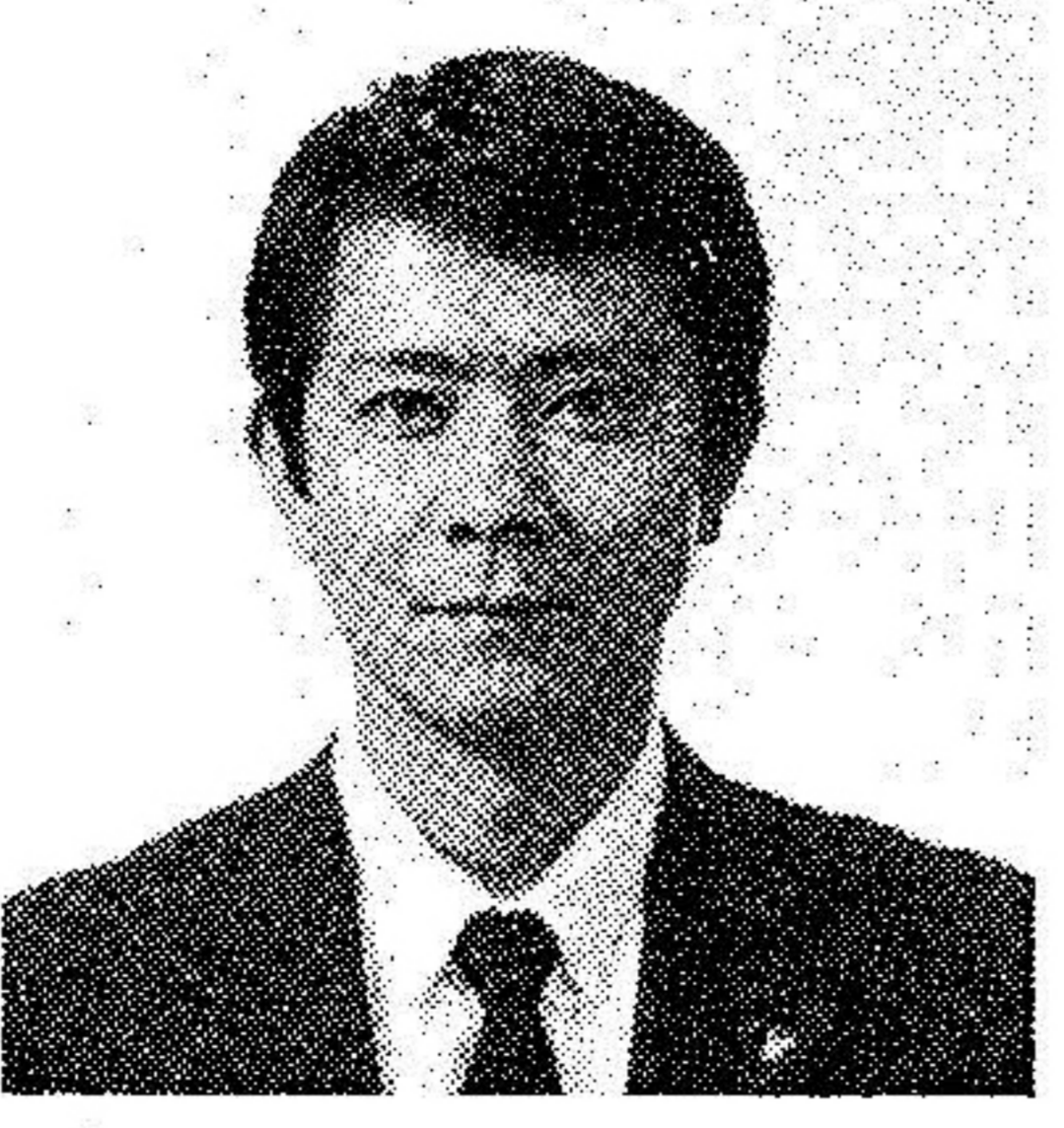
監 事
片野 猛
かたの たけし

①25年9月11日生②61年度
③62年経営指導力副委員長
63年青少年交流委員長
④カタノ設備



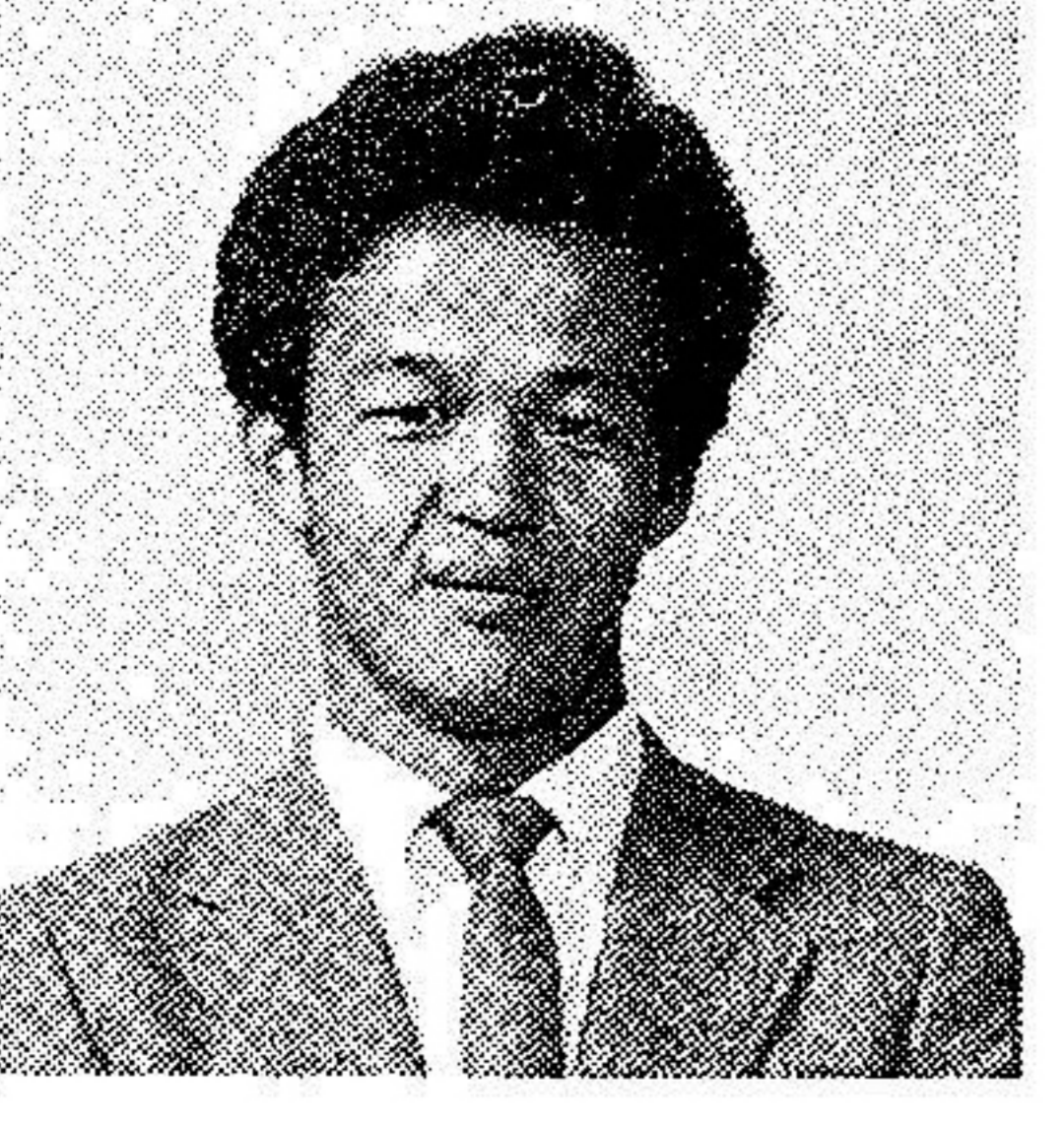
監 事
野澤 繁
のざわ しげる

①28年6月14日生②59年度
③61年20周年特別委員長、
62年20周年実行委員長、
62年20周年企画部会長、元
年副理事長④デザイン・ワ
ークス空間舎デザイン・ス
タジオOM



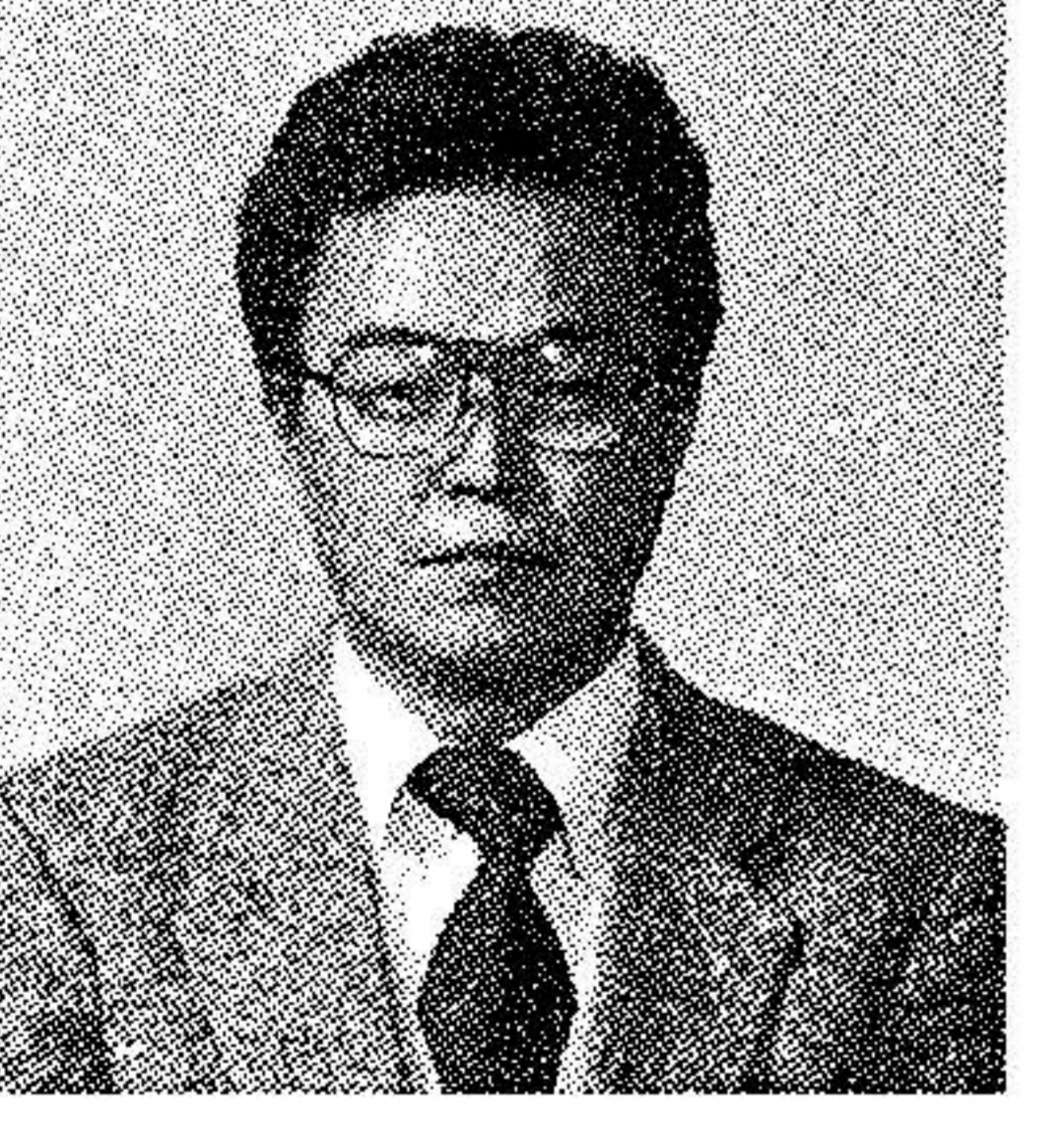
副理事長
阿部 茂
あべ しげる

①26年4月14日生②56年度
③60年青少年交流教育開発
副委員長、62年総務広報委
員長、63年会員広報副委員
長④阿部写真館



副理事長
尾形 修平
おがた しゅうへい

①34年7月28日生②58年度
③59年経営開発指導力副委
員長、60年社会開発副委員
長、62年副理事長、62年20
周年副実行委員長、63年社
会開発委員長、元年新潟ブ
ロック協議会会員大会特別
委員会出向
④(株)尾尾建設



副理事長
遠山 紀芳
とよやま きよし

①26年1月1日生②60年度
③61年社会観光委員長、62
年総務広報副委員長、63年
新潟ブロック協議会地域活
性化委員会出向、元年副理
事長④遠山建築設計事務所

- ①生年月日 (昭和)
- ②入会年度
- ③主なJC歴
- ④事業所名

時代新生き生き上村

村上J.C.'90年度正副委員長

総務委員会委員長

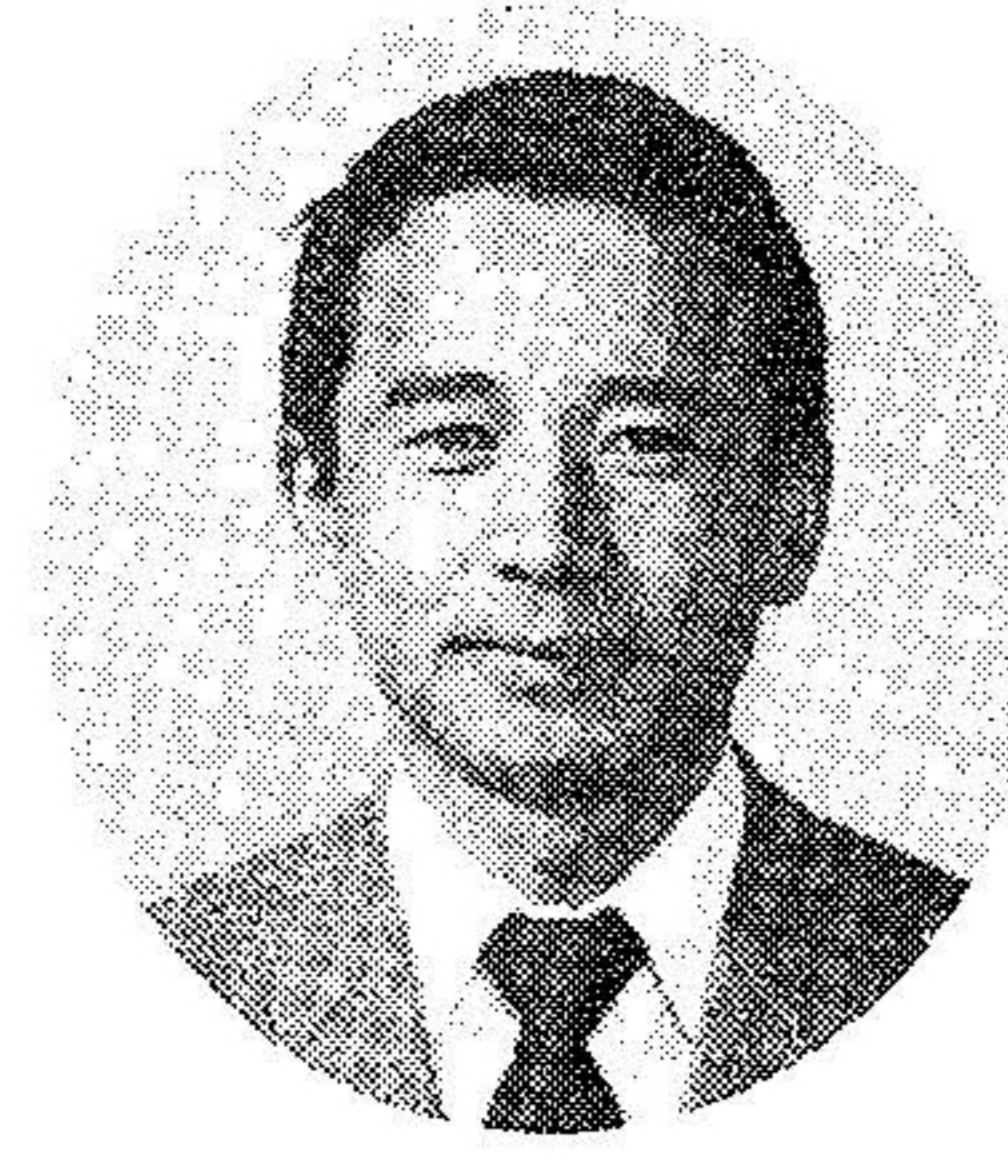
佐藤 敬一



平成の時代幕明けに、村上J.C.は夕陽ラインシンポジウムという大事業を乗り越えて変革の能動者たらんとする青年の第一歩を踏み出しました。本年度総務委員会は、従来の広報部門が取り除かれ、メイン事業の社団法人取得を中心に取り組みよう配慮されております。社団法人取得については種々問題があると思いますが、公益社団法人になれば社会的に認められる団体として新たな自覚をもって次代の足掛かりになると思えます。社団法人取得という大きな目標の達成に向かって頑張りますので宜しくお願いします。

総務委員会副委員長

佐久間 成一



『近き人喜び
遠き人來たる』
一年間の中でやってみようと思っております。

総務委員会副委員長

鈴木 一之

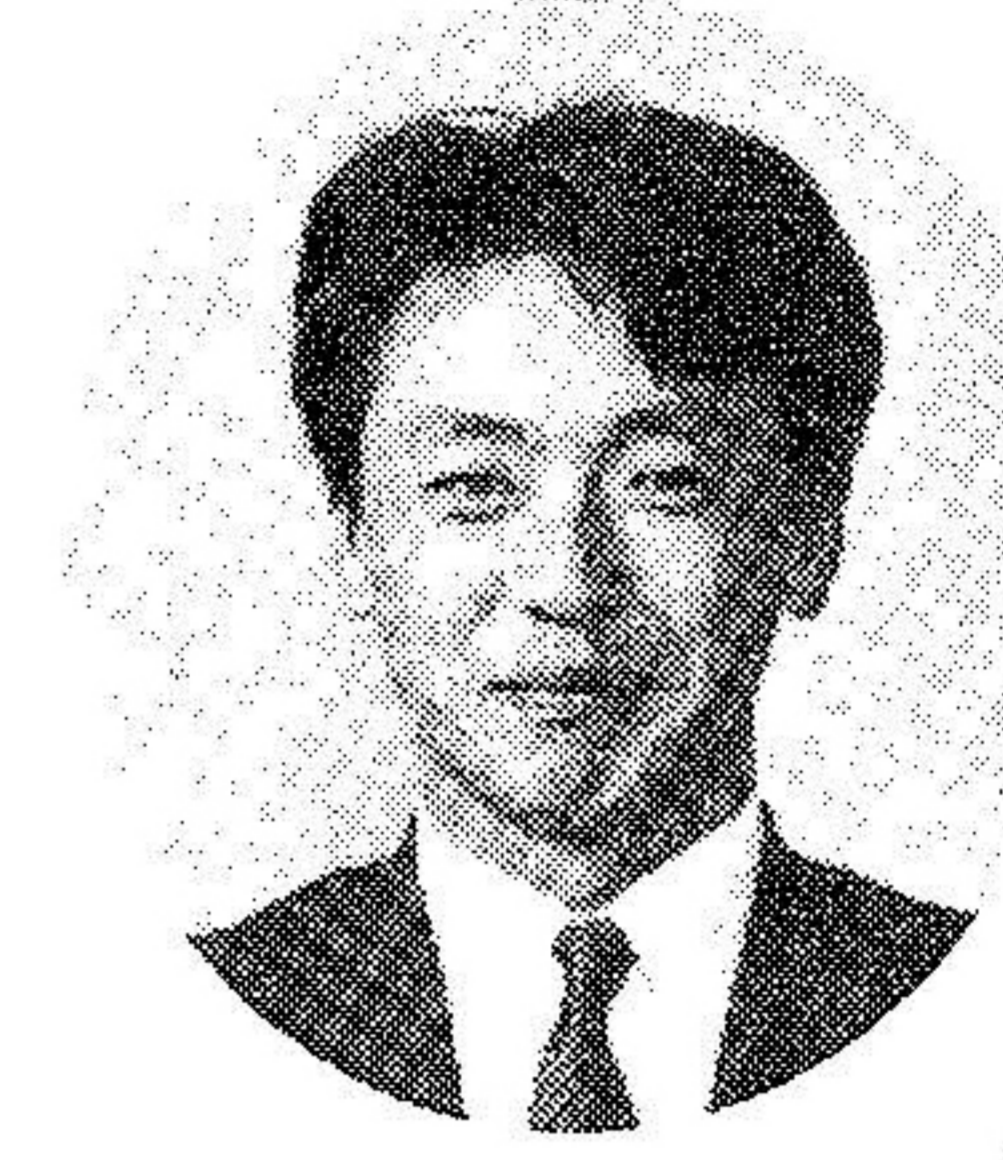


創造と協調と融和を！
委員会PR、副委員長PR
一般的に地味な委員会ではありますが、その中にある、新しい風を送り込む私でありたいと、頑張っていく所存であります。

最重要事業PR
当委員会事務局にあつては、「開かれた事務局」をモットーにして、スムーズな事務処理と、議事録等の簡略化として会員相互のパイプ役として、創造と協調と融和を大切にしていきたいと思っております。宜しくお願いします。

C.D.委員会委員長

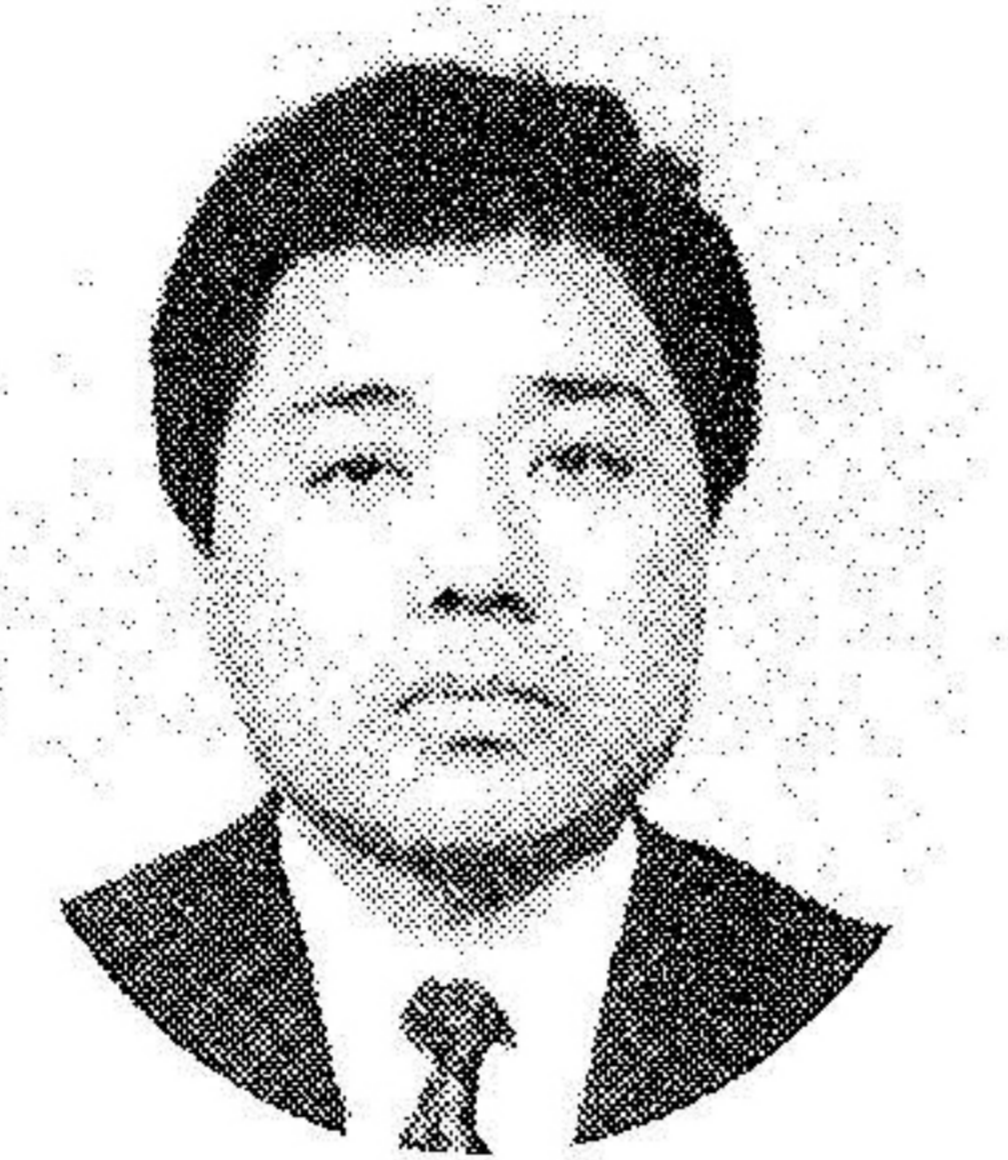
小林 大作



明けましておめでとうございます。本年度C.D.委員会の委員長を仰せ付けられました小林です。C.D.とは、Community Development(社会開発)の頭文字をとったもので、本年度は、前年度の社会開発委員会と青少年交流委員会との合同で、委員会が成り立っています。対外的事業を通して、社会性を習得することを目的としています。皆様のご指導、ご協力をよろしくお願い致します。

C.D.委員会副委員長

横井 仁



今年度、小林C.D.委員長のもとで青少年交流副委員長を仰せ付けられました。今年度委員会では、郡内の青少年を対象に自分たちから見た街、村とは何か、また今後このような街、村になつてほしいといった十年後、二十年後の自分たちの街づくり(住んでみたいと思える街づくり)を題材にし、今後の地域の活性化の未来像を求めて行きたいと思っております。皆様のご指導、ご協力をよろしくお願い致します。

C.D.委員会副委員長

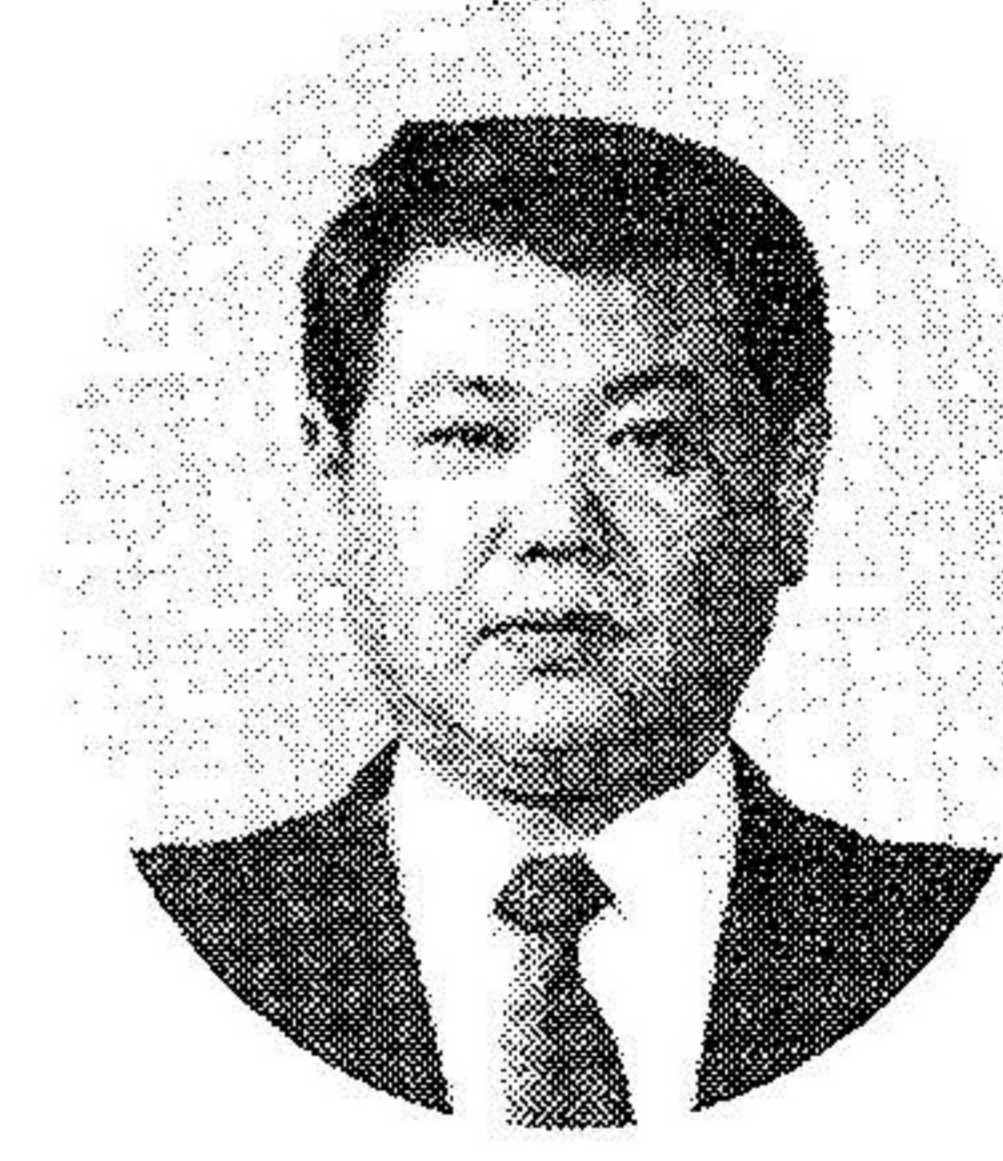
石田 明彦



「本年度の社会開発担当の事業について」
本年度は二つの事業を中心に活動したいと思っております。第一の事業は、他団体との広域的な交流を通しての研修です。「村上21」という青年団体の連絡協議会を中心として村上市の「ふるさと創生事業」への提案、協力を進めたいと思っております。第二の事業は、過去数年、村上を中心とした広域的プロジェクトを研究してきましたが、その成果を元にもう一度原点に帰り村上の将来のあるべき姿について研究したいと思っております。皆様のご指導、ご協力をよろしくお願い致します。

LD委員会委員長

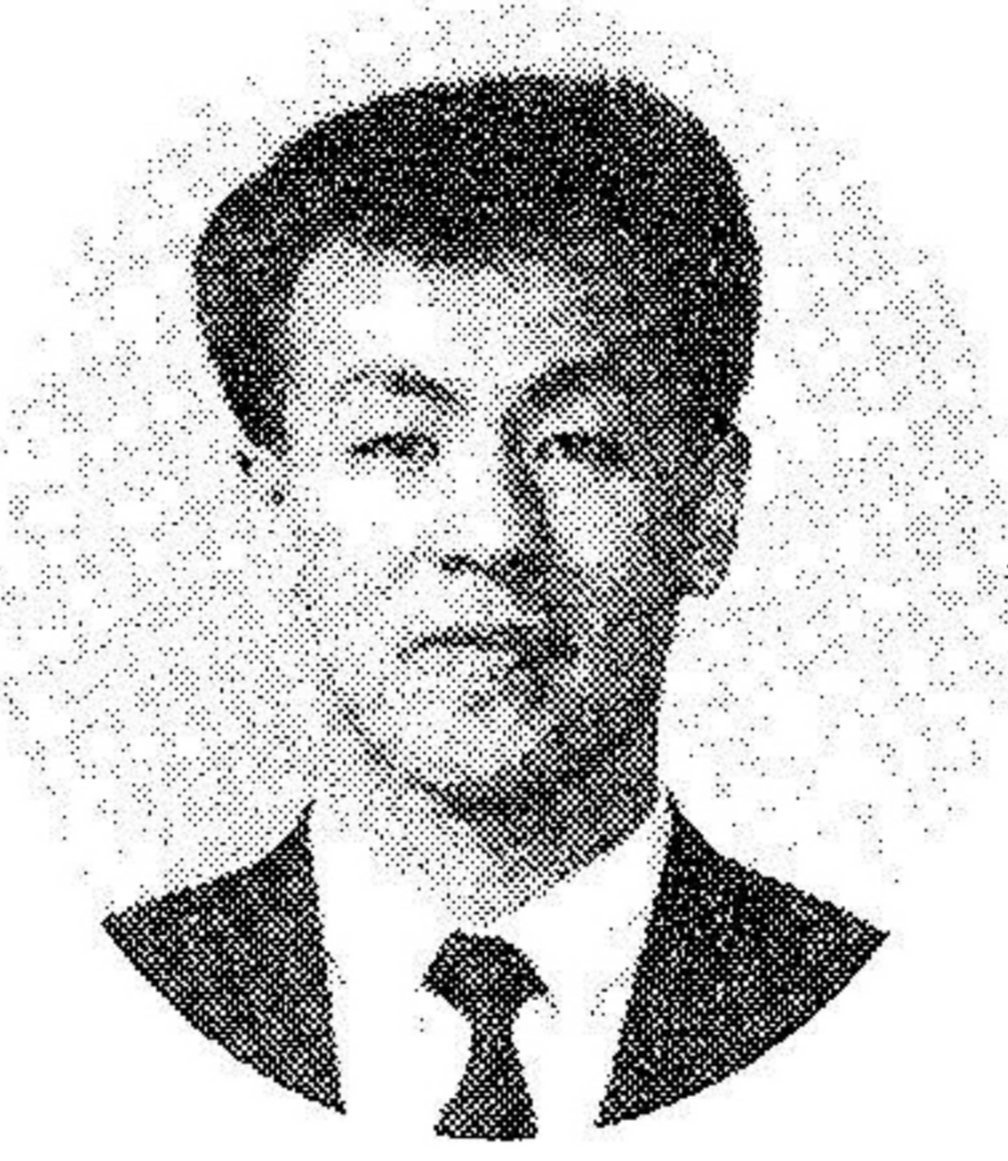
富樫 慶治



一九九〇年度村上青年会議所LD委員会委員長の富樫慶治です。一年間宜しくお願い致します。近年当会議所が行なった事業内容について皆様から多大な評価をいただきました。特に昨年村上市で開催されました夕陽ラインシンポジウムでは青年会議所ばかりではなく、各地の商工会、商工会青年部と協力しあい成功出来たものと思っております。一団体ではとうてい成功できなかったでしょう。今年度LD委員会では対外的活動が多くなつた会員の向上を目的とする研修会に力を入れたいと思っております。宜しくお願い致します。

LD委員会副委員長

高橋 祐



新年明けましておめでとうございます。今年度LD委員会広報担当の高橋です。一年間宜しくお願い致します。本年度LD委員会では、会員の質の向上を目的とした研修会に力を入れていきたいと思っております。また、広報では事業や活動、そして村上青年会議所の役割を広くみなさんにわかっていただけのような広報紙を作りたいと思っております。

LD委員会副委員長

池田 正喜



あけましておめでとうございます。村上青年会議所も本年を迎え二十三年目となりました。これまで多くの方々からの御指導を糧として、活動を続けて行きたいと思っております。さて、本年の会員拡大交流は、これまでの村上J.C.の活動をより多くの方々を知っていただくために思っています。そのなかで、私達と共活動できる人を求めております。まず一度J.C.の活動を見に来て下さい！

LD委員会副委員長

伴田 良夫



「指導力開発、推進内容」
J.C.のメンバーとなつて一年を過ぎ様としております。本年度は、理事としてLD委員会指導力開発担当を仰せ付けられました。更にJ.C.を理解し又、これを通じ自己実現する上で良い機会を与えて頂いたと思っております。本年度の推進項目は次の通りです。
一、例会講師(二回予定)
一、マネージメントゲームの実施
一、三分間スピーチ
一、委員会内勉強会
特にLDは委員会内で勉強会を行ない理解を深めます。以上の項目を柱に活動致します。

LD委員会副委員長

伴田 良夫

21世紀の責任世代

J.C.はあなたを待っています

「社会への奉仕」「世界との友情」
「自己研鑽」
明るい豊かな社会の実現へむけて、あなたも、あなたも、あなたも、さあJ.C.へ！

問い合わせ：村上青年会議所事務局
TEL 53-4257
LD委員会 会員拡大交流担当 池田まで

時代はJ.C.
自立したひと。
まち。

ここに日本づくり

’90日本J.C.
スローガン

「継続こそ力なり」
第三回日本海夕陽ラインシンポジウム秋田の地で開催される。

昨年村上の地で官民一体で大成功のうちに開催されました第二回日本海夕陽ラインシンポジウムも、感動とさらなる努力を胸に秘め、次の地へバトンが渡されました。今年七月十四、十五日の二日間、秋田県本荘市で、第三回日本海夕陽ラインシンポジウムが、(株)利本荘青年会議所の主管のもとで、開催される運びとなりました。

「継続こそ力なり」を胸に、高速道路開通の日まで、たえまなく官民一丸となり沿線住民一人一人とが手をつなぎ、頑張ってきたと今一度心に誓うのであります。今後とも変らぬ御理解と御協力をお願い申し上げます。

編集後記
一九九〇年の新春を迎え、新たな門出を会員一同、意義深いものとして行きたいと思っております。昨年は、多くの皆様とともに、日本海夕陽ラインシンポジウムを大成功に開催する事が出来まして、ありがとうございました。今後の一日も早い高速道路の開通の為に努力してまいりたいと思っております。沿線の皆様、よろしくお願いたします。また本年は、我村上青年会議所といたしまして、社会の中の青年会議所の位置付けを今以上に発展させる意味においても、社団法人格の取得といった目標に向って前進してまいります。

「継続こそ力なり」
第3回
日本海夕陽ライン
シンポジウム秋田で開催